



チーム I
中川 忠則 議員

問 所有者不明の土地について

Q 原因は何か。

A 相続登記が義務づけられておらず罰則も無いのが最大の原因である。

Q 解決策として、相続人が複数いる公共工事に限り、1人の同意がとれれば工事が実施できるよう法改正できないか。

A 必要な法改正について市長会等を通じて要望したい。また、登記を所管する法務省と連携し、協議等を行い解決に向け努力しなければと思う。

Q 地方に後継者を残す法律があつてよいと思う。ぜひ全国市長会等提案をしようよう要望する。

問 市民の負担について

Q 昭和30年代は人口が多かったが予算は少なかった。現在は人口が少な

いのになぜ予算が増えているのか。

A 社会保障制度の負担が大きくなっているのが原因。また、物価上昇も要因である。

Q 行政でできること、できないことを大きく線引きすべきではないか。

A 行政に対するニーズも多様化している中、市の財政も厳しい。公助・共助・自助の意味合いの中で、現在の行政、地方自治が進んできている。

問 学力テストの結果について

Q 全国平均と比較してどうだったのか。

A 小学校で全て県平均を上回り、全国平均を上回っている教科もある。中学校は、数学Aで全国・県平均を上回り、特に数学が力を付けてきている。

Q 子どもたちに考える力を付けてほしい。

A 考える力とは、自分の力でお金を稼いで生きていく力と捉えるべきと思う。

【その他の質問項目】
◇検査官について



実践クラブ
馬渡 光春 議員

問 防災について

Q 平成27年までの10年間で97%の市町村で水害発生。国が制定する防災の日（9月1日）を自然災害の認識と話し合う機会に。①本市でも何かすべきでは。②児童生徒への防災教育や命を守る教育をすべきでは。

A ①6・3を「いのりの日」、11・17を「島原防災の日」と定めているが、防災の日にも何ができるか検討する。②火災や地震等を想定し避難訓練を年3回実施している。

Q 河川の治水対策は。

A 定期的に巡回し老朽化が著しい箇所は年次的に改修を実施する。

Q 農業用のため池や堤の現状と危険性は。

A 平成25年度から2力年で現地調査を実施。国の補助事業で3力所の改良を調整中である。

Q 雨水抑制対策で①浸透枘設置補

助はどうか。②農業用施設には設置義務があるのか。

A ①個人資産への助成は難しい。対策方法を研究したい。②補助事業活用の場合は設置義務がある。

問 若者チャレンジ事業は

Q 事業の申請と認定状況は。

A 平成27年度は5件中1件、28年度は3件中2件、本年度は3件すべて認定している状況である。

Q 本年度採択された事業の事業費と市補助金（最長3年）は。

A かんざらしの新商品開発と販路拡大（事業費331万円、市補助248万円）、産直販売所と農業体験・交流人口の拡大、（事業費2957万円、市補助500万円）、周遊観光や地元商店との交流（事業費410万円、市補助328万円）

問 教育環境の整備は

Q 市内小中学校の空調設備の現状と更新時期は。

A 降灰対策で889台を設置。普通教室330台のうち49台（約15%）が故障中である。一小と三小以外は更新時期となっている。